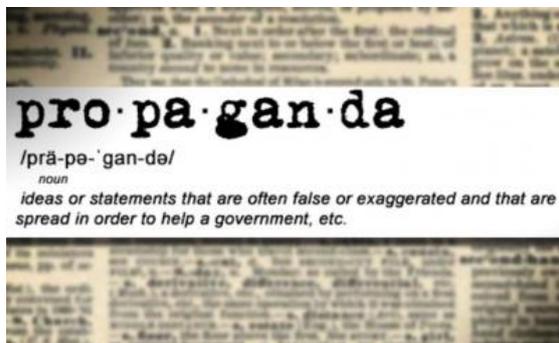


“ロシアが悪い” ゲームと情報戦争：主流メディア “フェイク・ニュース” vs 代替ニュースの真実（前半）

【訳者注】少し長いので2つに分けた。「米帝国の末期症状」というべきものについて、Moon of Alabama が書いていたことを、これは更に確認するものである。特に、米帝国にとって致命的な爆弾というべき Podesta E メール暴露が、外部（ロシアということになっている）からのハッキングによるものでなく、内部からのリークによるものという点に注意していただきたい。外部説がありえないことは、政府内部でさえ圧倒的のようである。これをクリントン陣営が押し通そうとするところがすでに末期症状だが、私はこれを、9・11 テロのツイン・タワーやビルディング7の倒壊になぞらえることができると思う。あれは外部からの攻撃によるものでなく、内部からの爆発（解体屋の仕事）によるものだった。今、米帝国がまさにその状態にある。ウソにウソを重ね、人々を騙し続けて、世界を支配しようとする者は、その同じ策によって内部から滅びるということである。この先アメリカがどうなるかはわからない。かりにクーデタから内戦状態となり、戒厳令や FEMA の強制収容所や棺桶の出番となって、ファシスト政府が制圧しても、滅びるのはファシスト寡頭体制であろう。

Joachim Hagopian

Global Research, December 19, 2016



現在のほとんどすべての新聞見出しは、いかにアメリカ帝国とその宣伝省 [主流メディアのこと] が、米国人民にウソをついているかを、はっきり示している。権力者たちは、2016年には、代替メディアによって完全に暴露されたために、彼らは日ごとにますます絶望的になっている。現時点の彼らの最大のウソは——オバマ-クリントン-ブッシュ-CIA-ロスチャイルド犯罪陰謀団によれば——プーチンとロシアが、世界でうまくいかなかったことすべての背後にいるかのように言うことである。

最新の彼らの主張は、プーチンのハッカーたちが、大統領選挙の結果をトランプに有利なように覆したというもので、このトンデモ報道は、現在、真実を悪として追放し、トランプの1月20日の就任式を無効にするために、その空虚な“フェイク・ニュース”キャンペーン

の矛先として使われ、見え透いた最後のあがきの口実として喧伝されている。

<http://www.glitch.news/2016-12-10-treason-left-wing-media-attempting-soft-coup-russian-conspiracy-fabrication.html>

<http://www.moonofalabama.org/2016/12/elite-coup.html>

昔からの国務省の老練精神病医 Steve Piczenik、CIA/NSA の警告者 William Binney、CIA の警告者 Ray McGovern、それに元英国大使 Craig Murray などが、こぞって、ロシア人が E メールを“ハックした”とか、選挙結果に介入したとかを示す証拠は、ゼロだと言明している。<http://stevepiczenik.com/>

<https://www.craigmurray.org.uk/archives/2016/12/cias-absence-conviction/>

信頼できる元 CIA 職員たちが、この E メールは、リークされたものであって、ハックされたものではない、またプーチンはこれと何の関係もないと強調している。17 の米情報局はこの判断が出たままなので悩んでおり、コンセンサスに達することさえできないでいる——FBI が最近、プレッシャーに屈して、遅まきながら、ロシアに対する共同戦線を弱々しく表明したにもかかわらず。<https://consortiumnews.com/2016/12/12/us-intel-vets-dispute-russia-hacking-claims/>

しょっちゅう態度を変えている Comey (FBI 長官) がまた迷っている。1 日か 2 日前まで FBI は、ロシア人が、民主党全国委員会の記録や E メールをハックしたと結論する、十分な証拠はないと主張していた。クリントン夫妻、オバマ、それに彼らの“情報部”の手下は、年末の日数がなくなるにつれて、急速に無用で無力な存在になりつつある。完全に明らかなのは、CIA/MSM (主流メディア) ウソつきどもが、ヒラリーが“神命による”選挙に負けたという事実を受け入れることができないために、偽ってこの情報ミームを政治化しているクリントン・カルテルからの命令に、従い行動していることである。Fed (連邦準備銀行) の終わりのない戦争アジェンダは、やがて崩壊するだろう。

<http://www.usatoday.com/story/news/politics/2016/12/16/fbi-agrees-cia-russia-hacked-help-trump/95528318/>

リンチ暴徒がまたしてもプーチンを悪魔化して裁こうとするのを、急いでたしなめる前に、注意しておくべき大事な問題は、クリントン夫妻、オバマ、ブッシュ一族、それに CIA が、病理学的にも職業的にも、完全に確認可能なサイコパスとして、常にウソをつくという、歴史的に遡れる記録をもっていることである。<http://www.globalresearch.ca/masters-of-manipulation-psychopaths-rule-the-world/5383706>

彼らはすべて、中東とその向こうの、アルカーイダ、アルヌスラ、ISIS といったテロリス

トを創り出し、支援し続けることに、大きく関わっている。おそらく、イリノイ州上院議員だったオバマを除いて、彼らのすべてが、9・11でアメリカ市民ら3,000人を殺した犯罪と、続いて、サダム・フセインが大量破壊兵器をもち、テロリストに直接つながっているという、大胆なウソを臆面もなく押し通した犯罪にかかわっている。

しかしオバマを除外することはできない。彼はアメリカの歴史で最もオープンで、透明な大統領であることを約束しながら、結局は、最も秘密主義で、最も不透明な、そしておそらく米国史上、最も無能な大統領になった。

しかし、彼を育て、その新星のような台頭をお膳立てした支配エリートに従って、彼が内部からアメリカを破壊したという、ミッション達成の面から見れば、彼という人形の使い手たちは、間違いなく大いに満足しているはずである。そして、エリートの私的傭兵隊としてのCIAに関する限り、そもそもの始まりからCIAの目的そのものが、常に変わらずウソとプロパガンダであった。

<https://www.sott.net/article/326283-The-overthrow-of-America-by-its-enemies-within>
<http://themindunleashed.com/2016/12/c-lying-russian-hacking.html>

ロシア人を盲目的に責めるよりも、少なくとも一人のインサイダーSeth Richが、記録文書をリークし、その後、おそらく報復として殺されたという、それより遥かに信用できる情報が存在している。その上、もしSteve Pieczenikを信用するなら、情報工作員が穏健な反クリントン逆クーデタを押し進め、何千というクリントン-ポデスタEメールを、ウィキリークスに手渡したのである。そしていま我々は、アメリカ国土安全保障省が、ジョージア州の選挙装置に、少なくとも10回、ハッキングを試みたという事実まで知っている。

<http://yournewswire.com/wikileaks-seth-rich-leaked-clinton-emails/>
<http://www.zerohedge.com/news/2016-12-14/georgia-confirms-homeland-security-attempted-hack-election-database-10-separate-time>

だから、これらすべてのハッキングとかリークとか言われているものは、内部的に、米合衆国内部の情報源から浮上したもの、そのほとんどが、直接、政府内部者の工作員か、もしくは党官僚から出たものと思われる。

もう一つの特記すべきポイントは、アメリカ政府は、世界で最も悪名高い犯罪集団であることであり、絶えず、他の主権国家の国内選挙や問題に、介入して干渉し、犯罪行為を次々に行って、外国の指導者を暗殺し、主権をもった政府を転覆させる、何十ものクーデタを実行してきたことである。

<http://listverse.com/2009/07/11/10-cases-of-american-intervention-in-latin-america/>

<http://www.globalresearch.ca/a-timeline-of-cia-atrocities/5348804>

そして目をそらしてならないのは、地球舞台の主要な役者のすべては、お互いに、特にサイバー・スパイにおいて、相手をスパイする点では同罪だが、ここでもアメリカが主たる犯行者になっていることである。だから、このように、ワシントン自身が1世紀以上も犯してきた最も罪のある、その同じ侵略行為でもって他国を責めるといふ、このよこしまな非難ゲームの観念全体が、控えめに言っても極端に偽善的、はっきり言えば悪魔的なのである。にもかかわらず、もう何世紀にもわたる、この種の二枚舌と傲慢こそ、まさに“アメリカ例外主義”が罪を問われることもなく、世界中で犯罪を行ってきたゆえんである。

http://www.cse.wustl.edu/~jain/cse571-14/ftp/cyber_espionage/

http://www.salon.com/2016/08/02/the_hypocrisy_of_american_exceptionalism_missing_the_big_picture_of_the_dncs_alleged_election_meddling/

“ロシアが悪い”ゲームは、古い冷戦時代から引継がれている、プロパガンダ戦略である。歴史がこうして繰り返しているのは、存在してはいけない権力が、アメリカ人を騙して、これを短期間の注目の的に使っているからである。

歴史を目撃し、また注意を払っている人々は、1950年代初期の冷戦時代と、マッカーシズムという“アカ恐怖”を思い出すだろう。その当時、多くの人々の命が、いわゆる共産主義者または共産党シンパとして、不当な烙印を押されることによって奪われた。深層国家アメリカが再びこれを演じている。それは、オンラインで真実を語る人々を不当に特定し、罰するもので、その罪状はまたもや、ロシアのプロパガンダに与するスパイ罪である。ニュース事件や世界の展開についての正確な説明を、合法的に報道する代替メディア・サイトのブラックリストを作るということ——そして、企業メディアのウソつき自身が、フェイク・ニュース宣伝という恥ずべき犯罪を行っているにもかかわらず、これらのサイトを、“フェイク・ニュース”ソースだと虚偽の弾劾をすること——これは、政府と主流メディアが何十年も無際限に行ってきた、同じペテンをさらに増強するものにすぎない。

<https://www.mtholyoke.edu/~lillsie/McCarthyism/Victims.html>

<https://theintercept.com/2016/11/26/washington-post-disgracefully-promotes-a-mccarthyite-blacklist-from-a-new-hidden-and-very-shady-group/>

「モッキングバード作戦」(Operation Mockingbird)は、冷戦の間を通じて、1950年代から1970年代の先まで続き、これは、CIAが最も大きなニュース媒体のすべて(25の新聞とラジオ局)を統制はしなくても、影響下におくものであり、これを使ってワシントン自身の冷戦プロパガンダを広めるものだった。Fedと新聞社の不吉な共謀が、2つのアジア民族に帝国主義的な分裂をもたらした。朝鮮民族とベトナム民族が、それぞれ2つの敵対国に

分裂し、700 万以上のアジア人（9 万 5,000 の米兵は別にして）を殺すという、2 つの犠牲の大きい戦争をした。そして上院教会委員会がついに 1976 年に「モッキングバード」を暴いたとき、当時の CIA 長官ジョージ・ブッシュ・シニアは、少なくとも書面上で“公的な”終戦を宣言せざるをえなかった。しかしその後、外国の新聞にニセ情報を植え付け、それが狙い通りアメリカに広がると、これは、ウソつきの CIA にとって、アメリカにも外国のニュース・マーケットにも、プロパガンダ・コントロールを及ぼす、もう一つの隠れた手段となった。

<http://www.globalresearch.ca/u-s-government-has-long-used-propaganda-against-the-american-people/5502255>

<http://www.globalresearch.ca/know-the-facts-north-korea-lost-close-to-30-of-its-population-as-a-result-of-us-bombings-in-the-1950s/22131>

<http://www.reuters.com/article/us-war-deaths-idUSN1928547620080619>

<http://www.zerohedge.com/news/2016-11-25/meet-real-fake-news>

この不吉な絆はまた、最有力組織の「外交問題評議会（CFR）」のような共通のつながりを通じて、まさに今日まで存続している。何十年にもわたって、CFR は戦略的に、主流メディアや娯楽産業から優れた人材を招へいしたり募集したりしているが、それは新聞と全く同じ PR 目的をもつもので、彼らを利用して深層国家のプロパガンダを推進したり、腐敗した隠ぺいに加担させて、アメリカ人民を思い通りに騙すためである。それから近年は、政府とマスメディアの企業化された併合が、米軍、CIA、ハリウwoods の FBI 連絡機関を使って、権力とメディア・コントロールを強化して、ますます少数の手に集中させ、結局、6 人の寡頭政治家が、6 つの最大のメガ・メディアをコントロールし、今日のニュースの 90% 以上の流れをコントロールしている。ほとんどすべてのテレビ番組とハリウwoods 映画が、現在、純粋な深層国家プロパガンダとして、外国の戦場で死んだ米兵の、次の世代を洗脳するための最上の募兵の手段として、1 世紀以上にもわたって機能している。これによって、今日現れてきたものは、ファシスト政府陰謀団であり、これが、連日、深層国家の代行者である主流メディアが配達するウソのプロパガンダを通じて、不法な支配と権威を維持しているのである。

<http://www.globalresearch.ca/one-world-governance-and-the-council-on-foreign-relations-we-shall-have-world-government-by-conquest-or-consent/5541363>

<http://www.newsbud.com/2011/11/30/the-rockefeller-world-council-on-foreign-relations-the-trilateral-commission/>

<http://www.globalresearch.ca/lights-camera-covert-action-the-deep-politics-of-hollywood/11921>

<http://www.globalresearch.ca/the-glories-of-americas-wars-made-in-hollywood-by-the-pentagons-propaganda-machine/5387521>

——前半終わり——

ジョアキム（ヨアヒム）・ハゴピアンは、ウェストポイントの卒業生、かつて米軍士官を勤めた。彼は自分の特有の軍隊経験に基づいて“*Don't Let the Bastards Getcha Down*”（あいつらに負けてはならない）という手記を書いた。これはアメリカの国際関係、リーダーシップ、国家安全保障問題に焦点を当てたものである。兵役後、ヨアキムは臨床心理学の修士号を獲得し、免許セラピストとして4半世紀以上精神疾患の分野で働いた。現在は著作に専念している。